



県政報告 Vol.22

2023.10月発行



愛知県議会議員 神谷まさひろ

「日記で綴る県政報告Vol.22」をお届けします。今回は愛知県議会6月定例会と9月定例会の間の期間、各種イベントや委員会での県内・県外調査、各種推進協議会や要望会などが行われました。紙面の関係で全てはお伝え出来ませんが、その一部についてお伝えします。ぜひともご一読頂き、県政を少しでも身近に感じて頂けたら幸いです。



8.17 木

建設委員会の県内調査 刈谷市からは2項目を要望

毎

年、建設委員会ではこの時期に愛知県内9か所の建設事務所等を訪れる県内調査を行っています。今日は知多建設事務所と知立建設事務所を訪問されており、私も知立建設事務所において地元議員の

一人として同席しました。調査内容は知立建設事務所関係の事業のほか、衣浦港務所管内の事業についてです。

それぞれの所長から概要説明があった後、碧海5市の市長さん(代理も含む)からそれぞれの市の要望事項を説明して行きました。刈谷市からは稲垣市長さんが出席され、[道路ネットワークの整備]と[二級河川等の改修の促進について]の2項目を提案されました。

具体的には、「名古屋岡崎線の豊明刈谷工区における境川橋梁の整備・オアシス橋工区の4車線化整備」「境川や逢妻川の河床掘削・河道拡幅などの改修事業の積極的推進」です。

これらの事業の推進に向けて県議会議員の立場で微力ですが尽力して参る所存です。



8.21 月

今朝の新聞に「PFAS (有機フッ素化合物)」の記事が

以

前聞いた言葉に「物はあるから見えるのではなく、見る気になって見るから見える」という言葉があります。たとえ有用な情報でもその気にならなければ目の前を素通りしてしまい、せっかくの情報を掴むことは出来ないという意味です。

今日の新聞には「発がん性などが指摘されているPFASについて、環境省が有害性の調査研究に本格的に乗り出す方針を固め、2024年度の概算要求に関連予算を盛り込む」と載っていました。

愛知県議会では私の所属する県民環境委員会において次のようなやり取りがされています。

【質問】

最近マスコミ等で特に話題となっているPFAS有機フッ素化合物だが、特に関東方面では水道水に含まれており、発がん性や有害であることが盛んに言われている。県の環境局では、このPFASという環境汚染物質は、検査や監視の対象となっているのか。また、県内の検出の実績はあるのか。

最近その言葉を実感することがよくあります。それは先の6月定例会県民環境委員会で議論となった「有機フッ素化合物=PFAS」についての報道です。以前は報道されていても私の目の前を通過していたものが、6月定例会でその言葉を知り関心を持つようになってからは、テレビ・新聞などで頻繁に報道されるようになったと感じます。

【答弁】

PFOS、PFOAについては、人の健康保護に関連する物質ではあるが、公共用水域等における検出状況から直ちに環境基準項目とはせず、引き続き知見の集積に努めるということで、2020年5月に要監視項目に位置づけられ、暫定指針値が設けられている。



要監視項目に位置づけられたことを受け、本県では、県内の地下水のPFOS、PFOAの状況を把握するため、2020年度から調査をしている。そのほか、公共用水域においても県内の河川、海域等で調査をしている。

県内でこれまでに超過した事例は、河川では3地点、地下水では2地点ある。現在は、県内の汚染状況を調査している段階であり、本年度も調査を行うこととしている。

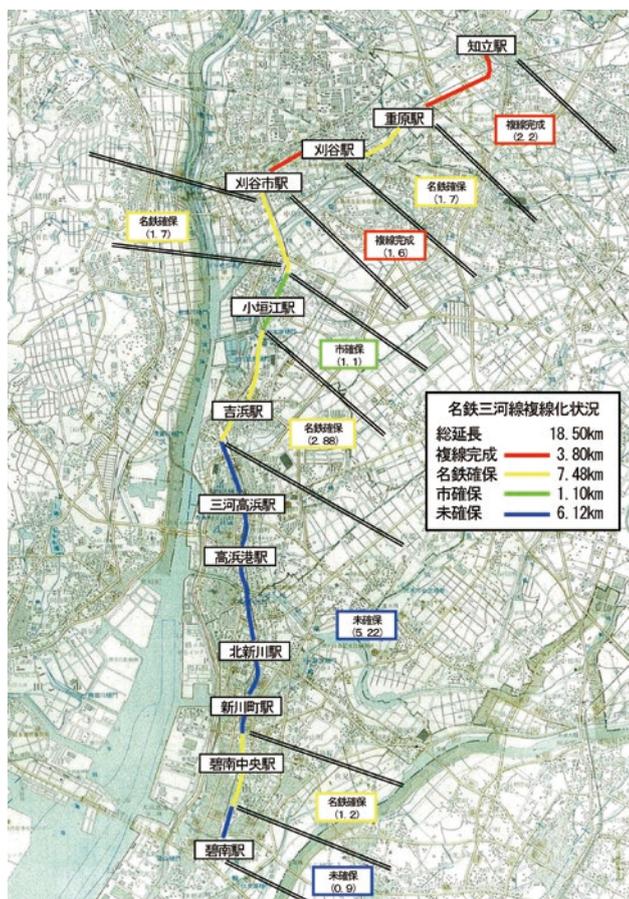
岐阜県各務原市では水道の水源地から国の暫定目標値を超えて検出され続けていたにも拘わらず市が公表せず、適切な対策を取らないまま水道水として供給していたという問題も発生しています。今後はこの問題に対する国の動向や対策をしっかりと注視して行きたいと思っております。

8.31 名鉄三河線 駅周辺の再開発・駅の改善は特急で!

碧

南市役所で開催された『令和5年度名鉄三河線複線化促進期成同盟会』に出席しました。

この期成同盟会が発足したのは昭和42年、名鉄三河線の複線化については実に半世紀にも及ぶ要望活動となっています。その結果、知立駅～碧南駅間総延長18.50kmのうち、複線化が完成したのは知立駅～重原駅の2.20kmと、刈谷駅～刈谷市駅間の1.60km。用地確保の状況としては、名鉄による確保済み用地は7.48km、自治体による確保済み用地は1.10km、そして未確保の用地は6.12kmとなっています。



こうした複線化そのものの促進のほかに重点要望事項としては・・・

■リニア中央新幹線開業を見据えた対応施策として

◎本線から三河線への直通特急の運行

■利用者の利便性の向上施策として

◎通勤・通学時間帯での増発

◎一定の時間帯における名古屋への直通便の再設定

■沿線各市の地域資源を活用した利用促進施策として

◎観光客の恒常的な誘致と三河線沿線各市の市民回遊性向上のため、様々な階層をターゲットにした利用促進策の実施

などが提案されています。また、地区別要望事項としてそれぞれの駅における課題解消が提案されております。たとえば・・・

【刈谷駅】JR刈谷駅との乗り継ぎ時間短縮・混雑緩和策

【刈谷市駅】駅周辺の再整備への協力

【三河高浜駅】岡崎半田線における渋滞解消のため三河高浜駅南の遮断機の下りるタイミングの改善

【知立駅】高架化に伴う高架下空間の利活用は関係諸団体の意見を汲んで進めること

【碧南中央駅】空きテナントの有効活用策の検討・協力

【その他】駅構内にトイレのない駅についてトイレの設置

本丸の「複線化」は非常に難しいテーマでありますので時間を要することは仕方ありませんが、地区別要望としての駅の改善は特急列車の如くスピード感を持って推進して欲しいと願っています。

9.1 金 今日も名鉄の話題です 三河知立駅が移設します

昨日の日記で名鉄三河線の複線化の話題を取り上げましたが、昨日に続き今日も名鉄の話題です。本日、名鉄が『知立駅付近連続立体交差事業に伴う三河線三河知立駅の移設開業について』を発表しました。それによりますと…

名古屋鉄道は、名古屋本線・三河線知立駅(知立市栄2-60)付近の鉄道高架化工事について、事業主体である愛知県と協力して2010年から工事を進めてきましたが、2024年3月16日の始発列車から、三河知立駅を現在の位置から豊田市方(竜北中学校付近)に約900m移設して営業を開始します。

現在の三河知立駅(知立市新地町吉良道東14番地5)は、2024年3月15日(金)で営業を終了します。



9.3 日 コロナで中止となっていた総合防災訓練を実施しました

安城市総合運動公園などで『令和5年度愛知県・安城市総合防災訓練』が行われました。本来は3年前に実施する予定だったのですが、コロナの影響で中止になり、改めて本日の開催となりました。南海トラフ地震を想定して100の機関が参加しての大掛かりな訓練です。



こうした訓練を通して、防災関係機関の連携を確認すること、市民の中に防災意識が高まることを目的に行われています。

様々な団体がブースで防災についてのPRをされており、私も「煙体験」や「消火器体験」などを体験しました。また、地元の防災リーダーさんも、あいち防災リーダー会のブースで活躍されていました。

「備えあれば憂いなし」否「備えていても憂いている」位がちょうど良いかもです。

9.5 火 ボランティア活動功労者表彰＝刈谷からは1団体

県庁の講堂において『令和5年度ボランティア活動功労者表彰式』が行われ来賓として出席しました。今回表彰を受けられたのは、個人の部が5名、団体の部が36団体で、刈谷市からは外国にルーツを持つ子どもたちへの学習支援を行っている「スリーエス」さんが表彰を受けられました。

2011年に設立し現在約40名の会員さんで①小中学校における取り出し授業(授業時間内に児童・生徒を別室で個別に1対1で指導)②市民館での放課後教室(放課後に児童・生徒を集めて指導)などを行ってられます。

愛知県では地元経済界・企業等の協力により2008年度・2016年度に続き2022年度に第3次の「日本語学



習支援基金」を造成し、スリーエスさんのような団体に資金的な支援をしていますが、様々なコストの値上がりにより運営は本当に厳しいのではないかと推察します。

ボランティアの皆様の善意に甘えるだけでなく、運営に必要な部分は県としてもきちんと支援するように次の県民環境委員会では議論したいと思っています。

9.12 火 ▶ 半世紀ぶりの満席？ 愛知県政史上初の出来事か

県 庁で行われた『愛知県議会と名古屋市会のアジア・アジアパラ競技大会推進議員連盟の合同会議』に出席しました。

会場となった本庁講堂はかつて(50年前まで)、愛知県議会の本会議場として使用されていた場所で、現在は主に式典・表彰式会場として利用されています。大村秀章愛知県知事、河村たかし名古屋市長をはじめ、県議・市議、行政、マスコミ関係者他、総勢約200人に及ぶ一同がこの講堂に会したのは、恐らく愛知県政史上初の出来事かと思われま

す。2026年に開催予定のアジア・アジアパラ競技大会については「大会運営費に国費を投入しないこと」が2018年9月と2022年7月にそれぞれ閣議了解されています。そのため、愛知県では選手村の施設整備を取り止めてホテル等を活用したり、一部の競技会場を県外の既存施設に変更して仮設整備の削減を図るなど、大会の質を確保しながら経費の抑制に取り組んでいます。しかし、昨今の原材料費の高騰や労務単価の上昇、国際スポーツ大会に対する企業の協賛意欲の低下などにより状況は更に厳しさを増し



ているのが現状です。そこで、開催経費への支援を国に要請することを全会一致で決議をしたのです。

尚、刈谷市ではウェーブスタジアムがサッカー、ウイングアリーナがバスケットボールと車いすラグビーの会場予定になっています。

9.25 月 ▶ 『全国女性消防操法大会』での健闘を祈ります

夜 8時、10月21日(土)に東京において行われる『全国女性消防操法大会』に愛知県代表として出場する刈谷市女性消防隊の激励会・操法披露が行われました。



「激励会」と名の付くものに出席する機会はよくありますが、夜8時から開催するところが消防団活動の立派さを象徴していると思います。つまり、仕事や学業を終え帰宅をして、本来なら家族団らん、夕食の時間帯にボランティアとして消防団の皆さんは活動しておられる、そうした見えないところでの努力を象徴するような時間からの激励会です。



「大切なものは表に出ない」…多くの人の知らないところでの地味な活動ですが、人々の安全を守るという大切で崇高な活動だと思っています。心から敬意を表し、愛知県の代表として日頃の訓練の成果を充分発揮されることをお祈りしています。

